

西大和つうしん

2016年 3月号
No.405



<2016年2月11日:伊吹山からの遠望>

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第405号(2016年3月号)

【目次】

3 月度山行計画.....	1
3 月度・4 月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・教育山行 《1月24日》 台高の山 高見山(藤本).....	5
・教育山行 《1月30~31日》 北八ヶ岳 天狗岳(船江・藤井).....	6
・県連講習 《2月6日》 比良の山 白滝谷~打見山(杉村).....	8
・例会山行 《2月7日》 京の山 大文字山(森川).....	9
・自主山行 《2月11日》 琵琶湖北 伊吹山(野路).....	10
室内例会だより(1/27).....	11

3 月度 例会 山行 計画

~低いながらも好眺望の山~

●2016年3月6日(日) 女性部山行

例会山行 2◆布引山地 《錫杖ヶ岳(676m)》

[L: 今井/緊連: 辻]

【集 合】 上牧P場 AM7:30

【コース】 〈加太向井ルート〉

登山口~柚木峠~錫杖ヶ岳~柚木峠~登山口

~残雪の山頂より360度の眺望が広がる、南鈴鹿の山へ!~

例会山行 1 (1月中止の例会山行再挑戦)

●2016年3月13日(日)

例会山行 1◆鈴鹿の山《綿向山》

[L: 林/緊連: 島崎]

【集 合】 上牧町駐車場 AM6:30

【コース】 8:30 美幸橋駐車場~8:55 表参道登山口~9:40 三合目小屋
~10:10 五合目小屋~10:50 七合目小屋~11:50 山頂
12:40~13:30 七合目小屋~14:00 五合目小屋~14:20
三合目小屋~15:00 表参道登山口~15:20 駐車場

～ガラス細工の様な美しい樹氷と霧氷を堪能しましょう～

●2016年3月20日(日)

例会山行1◆台高山脈《桧塚奥峰》

[L:杉村/緊連: 都築]

【集 合】上牧P場 AM6:00

【コース】大又登山口(8:00)～明神平～明神岳～1335m 鞍部～判官平～
桧塚奥峰～判官平～明神岳～明神平～大又(16:00)

(歩行時間約7時間) 【帰宅予定】上牧P場 18:30

西大和山の会 カレンダー

3 月			4 月		
1	火	臨時県連理事会	1	金	
2	水		2	土	
3	木	県連登山講習会・座学	3	日	近プロ搬出講習会
4	金		4	月	
5	土		5	火	県連理事会
6	日	◆女性部山行 錫杖ヶ岳(今井)	6	水	
7	月		7	木	
8	火		8	金	
9	水	◆自主山行(入道ヶ岳)島崎・県連理事会	9	土	
10	木		10	日	◆公開山行
11	金		11	月	
12	土		12	火	
13	日	◆例会山行1 綿向山(林)	13	水	◆自主山行 小塩山(島崎)
14	月		14	木	
15	火		15	金	教育山行<座学>
16	水		16	土	
17	木		17	日	教育山行 県連女性交流山行(向山)
18	金		18	月	
19	土		19	火	
20	日	◆例会山行1 桧塚奥峰(杉村)	20	水	
21	月	『西大和つうしん』4月号原稿締切	21	木	『西大和つうしん』5月号原稿締切
22	火		22	金	
23	水		23	土	
24	木		24	日	例会山行2
25	金		25	月	
26	土		26	火	
27	日	総会・3月度室内例会	27	水	4月度室内例会(19:30~)
28	月		28	木	
29	火		29	金	
30	水		30	土	
31	木				

山行・行事等参加メモ

入会順		2/24 室内例会	3/6 錫丈ヶ岳	3/13 綿向山	3/20 桧塚 奥峰	3/20 総会	3/20 懇親会	
1	(窪田)							
2	都築	○			緊急	○	○	
3	藤井	○	○	○	○	○	△	
4	(石田)							
5	多賀							
6	田中悦	○	○車	○車	○車	○	○	
7	島崎	○		緊急	○車	○	○	
8	田中初	○	○	○		○	○	
9	村田							
10	林			○				
11	辻	○	緊急	○車		○	○	
12	勝尾							
13	藤本	○				○	○	
14	杉村	○	△		○	○	○	
15	高橋	○				○	○	
16	玉越	○						
17	的場	○		○		○		
18	杉川	○						
19	阪口	○				○	○	
20	橋本	○			○	○	○	
21	今井	○	○			○	○	
22	亀高			○		○	○	
23	松浪							
24	亀井	○				○	○	
25	船江			○				
26	野路	○			△	○	○	
27	中							
28	杉森	○			○	○	○	
	合計							

初級教育山行 (テーマ:アイゼンワーク・冬山装備・冬山の天候判断)
台高の山:《高見山》

【日 程】 1月24日(日)曇り時々晴れ一時雪

【参加者】 CL 藤本・杉川・亀井・野路・船江(計5名)

【コースタイム】 ◆たかすみ温泉(9:04)~標高 550m 地点〔発汗に伴う衣服調整〕(9:21/29)~高見杉〔アイゼン装着〕(10:06/24)~大杉分岐〔稜線の強風に備えて衣服調整〕(11:04/16)~展望地(11:58/12:01)~高見山山頂〔昼食〕(12:11/46)~展望地(12:53/56)~大杉分岐(13:18/25)~高見杉〔アイゼン取外し〕(13:51/14:03)~たかすみ温泉(14:47)



1月14日に実施した初級教育講座の座学で、アイゼンワークおよび雪山の装備(特に防寒・防

風対策)、さらには冬季の天候判断について学んだ。今回の実山行「雪上歩行」は、これを実際の雪上にて体験するのが目的である。

もとは例会山行(鈴鹿・綿向山)を利用して実施する予定であったが、そちらが荒天で中止となったため、急遽単独の「教育山行」として実施することにした。当日は寒冷前線通過後低気圧が発達し急速に冬型へと移行する時期にあたっていた。当初観音峯など天候の影響が少ないフィールドも検討したが、今回の教育目的を考慮し、ある程度条件の厳しい高見山を行先を選んだ。地形上、稜線出合(大杉分岐)までは風の影響はほとんどないため、天候の状況に応じて途中までで引返すことが可能、しかもその場合でもそれなりの訓練ができる判断した結果である。

降雪の中たかすみ温泉を出発、雪は数日前の新雪が適度にしまっていて、ノーアイゼンでフラット歩行の練習を行うに最良のコンディション。雪上歩行の基本はノーアイゼンでしか習得できないので、最初はこのような安全なコースで十分体験することがなによりも重要。そのうえで、おいおい傾斜のある場所や氷結した場所でもノーアイゼンでの歩行を練習するのが望ましい。

さて、高見杉で今度はアイゼンを装着し、稜線への急登に備える。今回、雪がクラストした場所はなかったので、本来なら終始アイゼンは不要のところ、前爪のあるアイゼン初体験者もおられたため、できるかぎり長い距離のアイゼン歩行を体験していただいた。両足の幅を充分にとること、アイゼンのツアックの分だけ足を高く上げなければならぬことなど、ごく基本的なことのみ注意しての歩行だったが、それだけでもかなりの負担があったものと思う。

大杉分岐からは登山者の数も増え、強風下でも日照のお蔭で体感温度はさほどでもなかったため、山頂までのピストンを決定。山頂付近はさすがに20m以上の強風であったが、手足の指先、耳・鼻・ほっぺたといった末端部の感覚を確認しながら冬山装備の必要性を実感していただいた。主稜線上では、ピッケルも初体験!ただし、使用法は最後の教育山行(北ハケ岳)で学んでいただく予定である。

(藤本 武司)

初級教育山行（雪山登山） 北八ヶ岳連峰：《天狗岳》

【日 程】 1月30日（土）～31日（日）

【参加者】 CL 藤本*・SL 杉川・藤井・辻・今井・亀井*・船江*（*教育班3名・計7名）

【コースタイム】

◆1月30日（土）：曇り一時雪 / 渋ノ湯(11:54)～八方台分岐(13:02)～唐沢鉱泉分岐(13:29)～黒百合ヒュッテ(14:18)〔泊〕

◆1月31日（日）：快晴のち時々曇り

【A 班（教育班3名）】：黒百合ヒュッテ(7:17)～中山峠(7:24/25)～p.2455 から東天狗直下付近でアイゼン・ピッケルトレーニング(7:56/9:05)～p.2455 下部にてラッセル体験のあとティータイム(9:20/10:01)～中山峠(10:14)～黒百合ヒュッテ帰着後、ヒュッテ前斜面にてアイゼン・ピッケルトレーニングと昼食(10:20/11:48)

【B 班（登頂班4名）】：黒百合ヒュッテ(7:17)～中山峠(7:23)～東天狗岳(8:47/54)～西天狗岳(9:16/32)～〈東天狗岳山頂北をトラヴァース〉～p.2455 付近(10:33/39)～中山峠(10:56)～黒百合ヒュッテ帰着後昼食(11:02/11:48)

【AB 班合流後】：黒百合ヒュッテ(11:48)～中山峠(11:53)～にゅう分岐(12:13)～中山(12:34)～中山展望台(12:37/42)～高見石小屋(13:35/37)～高見石(13:41/47)～高見石小屋(13:49/51)～賽の河原地蔵(14:32)～渋ノ湯(15:16)

◆初日&2日目（教育班）

雪山座学終了後、高見山実山行を経て、教育訓練としては最高の条件と環境を与えて頂いた雪山山行でした。

初日、朝5時に集合し、登山口の渋ノ湯には11時過ぎに到着。気温はマイナス3度。身支度を整えて、出発したのは12時前だった。使い方に慣れるため、右手にピッケル。最初の九十九折りからすでに凍っている部分も多くあったが、登りということもあり、午後で、無風の為か、トレースもあって歩きやすくアイゼン無しで行けた。深い雪に開いた穴が碧く光って見え幻想的。関西の雪山と違い、見る風景すべてが新鮮だ。登るにつれ景色が変わってきて、モンスター樹林帯はまるで「アナ雪」のエルサの城への道すじのよう。

雪の多さ白さ深さ、その景色。これまで雪山は高見・三峰しか知らなかったのが感動の連続。すると黒百合ヒュッテが、ひょっこり見えてまた感動！早い到着だったけれど、小屋でいろんな登山靴を見ることが出来、暖炉のある1F 広間での有意義な語らいも勉強になる、たくさんのお話を聞くことが出来た。なんと女性は個室をとって頂いたおかげで、準備や着替えもスムーズ、ぐっすり眠ることが出来た。

2日目、無風！太陽キラーン！この教育山行は、訓練という言葉が申し訳ないくらいなご褒美いっぱいのお山行だ。アイゼンを装着し、教育生A班とベテランB班一緒に登る。中山峠に着いた瞬間にご来光を浴び、これまたご褒美です♪ここでA班B班は別れ、訓練生の

私達は天狗の庭でアイゼン・ピッケルワークを練習、あまりにズボズボの雪なのでラッセルの指導もして頂けた。パウダースノーが太陽の光を受けキラキラ光り美しい。雪まみれになりながらも笑顔が絶えない。自身で危険回避できるための技術を身につけて、いつか登るから



ね、と天狗に登るB班を見上げて心に誓う。雪の中でお昼を食べ、黒百合ヒュッテまで降りヒュッテ前広場の斜面で空身でアイゼン歩行のいろんなパターンを練習しながらB班の下山を待つ。11時頃B班と合流。中山峠より下山。中山展望台からの雄大な南アルプスの景色が見える。高見石小屋までは西風が冷たかった。小屋横の高見石からは、遠く浅間山が見渡せ白駒池が真っ白に凍りついていた。賽の河原の風景も見事

景も見事で下りも楽しく雪の感触を楽しみながら渋の湯へ向かう。

教育山行で厳冬の北ハケ岳を体験でき、しかもほぼ無風の眩しいくらいの晴天。幸せな時間でした。今回の教育訓練に、きめ細かな配慮と計画して頂いたこと、本当に感謝です。ありがとうございました。

(船江 照代)

◆2日目(登頂班)

黒百合ヒュッテを一步出るとそこは白銀の世界。真っ青な空に名残の月が残っていた。シラビソの林を少し登ると中山峠。峠では東斜面が開けて輝く朝日が見えた。さらに南に向きを変えて樹林帯を抜けると息をのむような絶景が現れる。キレットを挟んだ北アルプスの神々しい連なり、すぐ近くに白いお椀型の浅間山がやさしく見えた。そしてこれから登る美しい双耳峰の天狗岳。感激と感動でしばし見とれていた。

ここで教育班と分かれて我々は天狗岳に向かう。先行者が大勢いてしっかりトレースが付けられている。さまざまな雪の造形を楽しみながら、登るにつれて展望がどんどん広がって



くる。パノラマを見ているようだ。斜度もきつくなってくるがピッケルの感触を楽しみながら青空に向かって登る。まず東天狗岳に到着。殆ど風もなくなだらかな硫黄岳、その先に切り立った岩峰の赤岳、その向こうには南アルプス、さらに中央、北アルプスも。富士山以外の3000m 峰がすべて見えたのではないだろうか。

一旦鞍部まで下り西峰の登りにかかる。美しい稜線が山頂まで続いている。下りは雪に足をとられながら鞍部まで戻り、東峰の北斜面をト

ラバースする。緊張するが雪面は柔らかく歩きやすい。後は雄大な景色を眺めながらヒュッテまで一気に下る。

ヒュッテでみんなと合流して昼食をとり、中山峠から高見石小屋方面に回る。穏やかな展望の道が続いている。日当たりや風向きで樹の形や風景が違っているのが面白い。

高見石からは白く凍結した白駒池が眼下にみえた。岩がごろごろしている賽の河原も積雪でやさしい河原になっていた。岩の間に陥没している人も？

雪の量もだんだん少なくなりスタート地点の渋の湯に帰ってきた。

最高の天気にもまれ北ハケ岳の雪山を堪能できた山行だった。

(藤井 益子)

県連登山講習会第4回：雪山登山講習会・実山行 比良の山：《白滝谷～打見山》

【日 程】2月6日（土）晴れ

【参加者】CL 藤本・SL 杉川・橋本・今井・野路・勝尾・高橋・森川・杉村（西大和9名・他会2名：計11名）

【コースタイム】坊村(9:55)ー伊藤新道分岐(10:42/43)ー口ノ深谷分岐(10:50/56)ー牛コバ：奥ノ深谷分岐(11:05)ー林道終点(11:09/17)～標高550m 地点〔昼食〕(12:00/29)～標高620m 地点〔一部メンバーアイゼン装着〕(13:09/27)～夫婦滝上：白滝山分岐(14:40/56)～汁谷〔ゲレンデ横の斜面にて登下降・初期制動練習〕(15:59/16:18)＝<リフト>＝打見山〔ロープウェイ山頂駅〕(16:22/40)＝琵琶湖バレイ山麓駅(16:44)



ないように思います。それは雪が少なくピッケル、会も殆どありません。そ
県連より雪山登山の講習
実山行前日の座学で
て作成されました雪山登
を頂き、それに基づいて
初級登山を交えて勉強を
今回先生は実山行には
が、リーダーFさん、サブS
白滝谷から打見山コース

雪山山行は限られた期間があり中々思う様に山行でき



して山に行っても今冬
アイゼンを使用する機
の様な環境の中で今回、
会を申し込みました。
は、先生が一週間かけ
山ガイドラインの資料
雪山全般だけではなく
しました。
同行されませんでした
さんの好意で比良山系
に行ってきました。



以前訪れた白滝は荒れていました。今回も未だ橋は
流されたままで渡渉が多く私はツルツと水の中へ・・・
谷浴い、沢浴いのトラバースは慎重に通過しないと危
険箇所が多く、ましてや小雪がちらちら積雪もあり歩
行に集中していないとちょっと足を滑らすと谷川へ滑
落・・・大変です。しかしアイゼン、ピッケルでのトラバ
ースの歩行技術など前日の座学の予習が実山行に役立

ったように思いますし、ほんの少しでも精神的に安心感が出ていたのではと感じて
います。

また分岐に着けば地図を広げ現地点の位置確認からトラバースのピッケル使用
とアイゼン歩行など広範囲な勉強をさせていただきました。

まだまだ歩行技術、雪山確保技術などしっかり覚えて行きたいと思っています。
リーダー、サブリーダーお疲れ様でした。ありがとうございました。（杉村 好子）

例会山行1 京の山：《大文字山》

【日 程】 2月7日(日) 曇り

【参加者】 AL 藤本、SL 藤井、林、多賀、船江、森川、BL 杉川、SL 田中悦、田中初、杉村、亀高、橋本、高橋 (計13名)

【コースタイム】 蹴上9:15～日向大神宮9:40～大文字山頂(465m) 11:30～大文字11:55(昼食)～銀閣寺1:05

昨夜雨が激しく降り、山行が中止かなと思っていたが、朝方には雨が上がり山行が行われた。

出発駅「蹴上」から大文字山に向かって歩いて行った。しばらく行くと京都の町と離れ、静かな山のなかへ入って行った。古くて小さい別荘らしい建物を見かけた。いかにも京都らしい奥ゆかしさを感じた。しばらく行くと日向大神宮という神社があった。みんなが思い思いに何をお願いをしたか知らないが、お願いをした。山へ登っていくと曇っていた空が晴れて青空が見えてきた。日も当たりその日は気温が高かった上に日当たりによってさらに暖くなり2月中旬とは思えないぐらいの暑さになった。みんな服を一枚一枚脱いでいった。山頂近くになると、急に風がきつくなり、歩いていると5～6cm 位の太さの枝が風によって折れて落ちてきた。

山頂に着くとそこからの景色が素晴らしかったが、風が強くすぐにそこを後にした。20分ほど下ると、お盆に大文字焼きで有名な「大」という字の場所に来た。そこで風がきつかったが、思い思いに風を避けて昼食にした。昼食の後、眼下に見える京都の町を見た。京都盆地も一目で眺められた。「御所はどこ」「あそこの寺は」「あれは京都タワー」「あの山は愛宕山」「比叡山が見える」「あれ桂川」と山の上から京都見物をした。その後、銀閣寺に向かって下って行った。

(森川 満)



自主山行

琵琶湖北東部：伊吹山(1377.3m)

【日程】2月11日(木・祝) 快晴

【参加者】L 藤本・辻・杉川・今井・橋本・野路 (6名)

【コースタイム】上野神社登山口(9:08)～一合目(9:36)～三合目(10:39)～五合目(11:06)～六合目(11:25)～九合目(12:55)～山頂(13:02/13:26)～六合目(14:06)～五合目(14:15/14:30)～三合目(14:43)～一合目(15:18)～登山口(15:46) 歩行時間 約6時間

滋賀県の最高峰「日本百名山」の一つにもなっている伊吹山。山頂一帯は花の宝庫でその美しさは有名である。

昨年夏は雨の為、やむなく6合目から撤退した。今回は雪山で、前回とは条件は違うが、風もなく、春の様に暖かい好天に恵まれた。雲一つない深いコバルトブルーの空。所々雪が少なく地肌は見えるものの、白い雪を被った頂き。その稜線の、青と白のコントラストの美しさ。気持ちは弾んでいた。

上野神社登山口から少し登ると、日陰とあって、根雪が凍っている。その上に新雪が少し積もっている。足元は滑りやすく慎重に歩く。2合目を過ぎると少し急坂になり、3合目まで来ると雪も少し多くなってきた。それでも今年は少ないとの事。ここ2～3日前に積もった、ふあふあで真白な雪がとても美しい。目の前には巨大な山容が見えて来た。5合目迄来るとその姿は一段と大きくなり、見上げる度に、青と白の美しさに見とれていた。

のんびりとその美しさ感動していたのもここまでだった。6合目でアイゼンを付けて歩きだす。そこからは「つづら折り」の急登が続く。少しの間、直登が近いかと思い登ったが、やはりきつく「つづら折りの夏道」に行く。7合目まで来ると登りの弱い私は、皆さんに付いて行くのがしんどくなり、一人だけ「休憩」をさせてもらった。目の前には琵琶湖が美しく見える。

「やはり私には雪山は無理かな・・・皆さんの足を引っ張ってしまった・・・」心が折れそうになった。「ますます遅れるのでここで待っています」・・・でもそんな私に、FMさんや、SKさんが「大丈夫、大丈夫、まだまだ時間はあるから」と優しく何度も何度も励まして頂き、本当に勇気づけられました。お陰さまで8合目を過ぎると頂上まではあと僅かだった。頂上までの道のりはとてもきつく、長かった!!

でも頂上では、この上ない素晴らしい景色が待っていてくれた。下りの時間になると、雪はかなり解けて滑りやすくなっている。アイゼンを引っ掛けられないよう慎重に下る。登りは大変だった所も下りは半分の時間。

改めて学んだ事は、途中で諦めてしまいそうになっても、「励まし、待っていてくれる仲間」の素晴らしさ。再認識をしました。ありがとうございました。(野路 政子)



室内例会だより

【日 時】2016年 1月27日(水) 19:30~20:10 事務所

【出席者】藤井、多賀、田中悦、島崎、田中初、林、辻、勝尾、藤本、杉村、
高橋、玉越、的場、杉川、坂口、今井、亀井、船江、中、橋本

1. 山行案内

2月14日(日) 例会山行 1 京都の山《京都トレイル第二回》東山コース(蹴上~銀閣寺)
L 杉川

2月21日(日) 例会山行 2 播磨の山《明神山》

L 田中

2月28日(日) 例会山行 1 鈴鹿の山《靈仙山》

L 的場

2. 山行報告

1月1日(日) 初日の出山行 王寺周辺の山<明神山>

L 都築 3名

1月10日(日) 例会山行 六甲山地 <須磨アルプス>

L 島崎 15名

1月17日(日) 例会山行 台高の山 <三峰山>

L 玉越 15名

3. 2016年度山行リーダー、例会山行(夏山山行)の件

① 山行リーダーについては県連ハイキングリーダー学校の受講生が担当する。本会在籍年数の長い方、又経験豊富な方も挙手していただきたい。

② 例会山行については、12月23日運営委員会だよりに詳しく明記していただきます不明な事があれば確認してください。

4. 連絡その他

① 県連40周年記念海外トレッキング参加希望の方は2月2日午前中までに藤本さんに連絡してください。(詳細「西大和つうしん2月号」10ページに掲載)

② 県連定期総会 2016年3月6日 出席者 亀高

③ 例会山行行先変更のお知らせ

3月13日(日) 例会1 L 林さん 蓬萊山→綿向山

(橋本紀子)

西大和つうしん

第405号（2016年3月号）

2016年2月24日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 的場喜義

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>